

## これまでの庁舎のあり方の検討について

平成30年7月25日～平成31年2月22日（計6回）

宮崎市庁舎整備に関する市民懇話会を開催。

「更なる長寿命化」ではなく、「庁舎の建て替え」が望ましいとの報告書が提出される。

令和2年6月8日

市役所本庁舎の整備方針は「長寿命化」でなく、「建替える」ことを決定。

令和2年7月30日～令和3年5月13日（計6回）

宮崎市庁舎のあり方に関する市民検討会を開催。

5月18日に市民検討会として望ましいと考える新庁舎の建設エリア「宮崎駅周辺」とする意見書が提出される。

令和3年5月31日

市として新庁舎を建設するエリアとして望ましいエリアを「宮崎駅周辺」とすることを公表。

「宮崎市庁舎のあり方に関する市民検討会」の意見書及び、庁内組織である「宮崎市庁舎問題検討委員会」の報告書、地域協議会や宮崎市議会からいただいたご意見や、来庁者や市政モニターへのアンケートなどを踏まえ、総合的に勘案。

エリア選定について重視した事項として

- 1 防災上の拠点性が確保できる
- 2 中心市街地の経済性や賑わいが確保される
- 3 公共交通機関の利便性が確保できる

令和3年7月21日

宮崎市議会新庁舎あり方検討特別委員会から「宮崎市新庁舎建設構想に関する提言」が提出される。

- 1 新庁舎の建設エリアの考え方の拡大について  
現時点においては、建設エリアを1か所に限定せず市長が発表された「宮崎駅周辺」に加え、「現地を含む橘通周辺エリア」を含めた基本構想の策定に取り組まれない。
- 2 建て替え場所を複数箇所選定した建設コストの提示について  
建て替え場所を複数箇所選定した上で比較検討ができるような、資料を作成し提示されたい。
- 3 当特別委員会に対しての報告について  
今後はまちづくりを含めたビジョンや検討事項等について、適宜適切に、当特別委員会に報告されたい。

令和3年8月23日

新庁舎建設基本構想を策定するにあたっては、建設エリアに「宮崎駅周辺」に加え、「現地」を含め検討することを公表。

令和3年9月21日

宮崎市新庁舎建設基本構想策定支援業務委託事業者の募集開始。

令和3年11月19日

宮崎市新庁舎建設基本構想策定支援業務委託の優先交渉権者を「株式会社日本総合研究所」に決定。